第21回 建築作品新潟県賞

建築士事務所法に理解を 建築作品新潟県賞を表彰

県建築士事務所協会

新潟県建築士事務所協会の平成25年度定時総会が5月22日に開催され。24年度事業報告を承認すると共に、25年度事業計画が報告された。

開会にあたり中村優晴会長は、建築士事務所の業務適正化、設計管理業の確立を目指して建築士事務所法が日建連から提案され、建築の資質向上、建築主の利益保護のためにも成立に向け理解を求めていくことが必要だと訴えた。

25年度事業計画では、関連団体との連携や、会員ニーズの調査・把握、技術向上、組織拡充などの事業を展開する。

また、2月4日に審査会が開かれた第21回建築作品新潟県賞の表彰も行われた。最優秀賞には大成建設北信越支店一級建築士事務所のSnow Peak Headquarters（すのーぴーくへっどくうぉーたーず）（一般建築部門）が、優秀賞には高田建築設計事務所（長岡市）のサポートセンター川崎「ツウィング」（一般建築部門）、奨励賞には同じく高田建築設計事務所の厩のある家（住宅部門）が表彰された。

Snow Peak Headquaters
サポートセンター川崎「ツウィング」
厩のある家

講評
新潟大学
西村　伸也 副学長

【講　評】

本賞は今年、その名称を「建築作品」から「建築作品・新潟県賞」と改め、21回目の今回が節目の年となった。これまでの20年に及ぶ活動の中で、新潟県内の優れた建築作品が応募されてたくさんの受賞作品がうまれており、新たに新潟県賞という県の名前を得た本賞が、新潟の優れた建築設計の技を全国に伝えることを期待している。

今年度の審査は、西村伸也新潟大学副学長、地濃茂雄新潟工科大学教授、野水祥一新潟県土木部都市局建築住宅課長、川ノ口信一新潟県建築士会会長、中村優晴新潟県建築士事務所協会会長、江部健治新潟県建築士事務所協会業務・技術委員長の委員6名で行った。

建築作品の審査は24年2月4日午後1時半から始まり、建築の応募書類を精査して、それぞれの委員が評価を行った後、熱心な議論を重ねて、最優秀賞1点、優秀賞1点、奨励賞1点を選定した。

今年度の応募作品は、新潟の風土・文化や環境を巧みに建築に活かしたものが多く、新潟県建築士事務所協会に所属する設計者の高い志と熱意、優れた技術を高く評価するものである。審査委員全員からの高い評価を得て最優秀となった「Snow Peak Headquaters」（大成建設㈱北信越支店一級建築士事務所）は日事連建築賞応募への推薦作品とすることとなった。

〈最優秀賞〉

「Snow Peak Headquaters」（大成建設㈱北信越支店一級建築士事務所）

細い柱で支えられた広く薄い屋根と細い材の張弦梁で構成された屋根が二つ重なり、建物全体が三条の里山に凛とした緊張と研ぎ澄まされた美しい景観を創っている。穏やかに下る敷地の上に、オフィス・ファクトリー・ストアがレベルを少しずつ変えてなだらかに繋がって、高さを抑えた建物が打ちっ放しの壁体を斜面の間から見せながら浮かんでいる。積雪に対応するためのムクリ、内部と外部を繋ぐ大屋根の庇、太陽光発電パネルの設置、前面床吹出空調採用、廊下に設けられたベンチレーターと床面開口、LEDによる照明など、多くのアイディアと省エネルギーへの工夫に支えられて、事務所・工場建築の価値を極めて高いものに押し上げることに成功した秀逸な作品。

〈優秀賞〉

「サポートセンター川崎『ツウィング』」㈱高田建築設計事務所

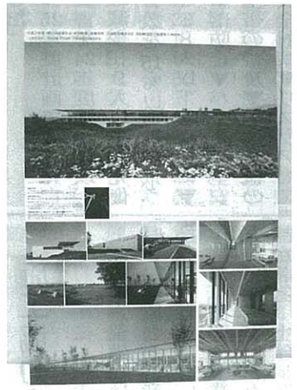
高齢者の個室で構成される棟が二つ、角度を少しずらして折り重なるように共用空間に繋がるという構成をもっている。

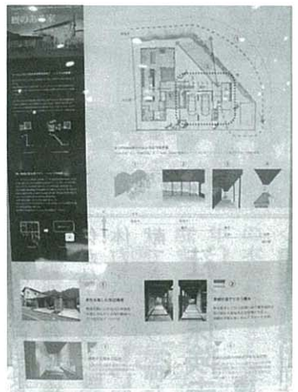
そこに出来る外部空間は、変化に富んでおり、日常を暮らす人の目を楽しませてくれる。正方形のモチーフを変形させて、花・人の顔・壁の分割とともに、各室のサインも綺麗にデザインされていて、柔らかな木質の壁・床と見事に調和した豊かな空間が実現されている。

〈奨励賞〉

「厩のある家」㈱高田建築設計事務所

駐車場を雁木のある空間として、精緻なデザインの住宅の中にきれいに組み入れている。駐車スペースの裏に雁木のアプローチ動線をとって、住宅の内部や庭の空間への外からのまなざしを柔らかく遮りながら、対社会的な空間の多層化を見事に成功させている。駐車場裏の雁木から入口に至る平面構成は巧みで、垣間見える居間の明かりや中庭の緑が、心地よい作品である。





表彰会場で展示された受賞作品パネル（左から最優秀賞・優秀賞・奨励賞）